

災害時に消防活動を応援

全 国 目 録
2 例 目 天童市と協定締結



渡邊理事長（左）、山本市長（中）、佐藤会長（右）

8日に市役所で開催した締結式には両団体と市側から15人が出席し、3代表による協定書の調印が行われた。渡邊理事長は「万が一の場合には2団体が1丸となつて応援に駆け付け、市民の安全を守っていく」と意気込みを述べた。また、佐藤会長は「通常の施工現場で常に連携をとっている両団体が、有事の際にもタッグを組むので迅速な作業が可能となるだろう。災害時には市民の安全を最優先に消防活動に尽力していく所存だ」と力強く語った。

山本信治市長は「本協定は全国でも先進的な取り組みである。これにより本市における消防体制の強化が一層図られ、大規模火災時においてとても心強いものとなるだろう」と期待を寄せた。

山形中央生コンクリート協同組合（渡邊英一事長）と山形県コンクリート圧送協会（佐藤隆彦会長）は8日、天童市と災害時における消防活動応援に関する協定を締結した。コンクリ2団体と市町村による災害協定締結は、山形市に次いで全国で2例目となる。

協定内容は、天童市域における災害発生時に、山形中央生コンクリート協同組合が所有するコン

クリートミキサー車を用いた消防用水の供給活動と、山形県コンクリート圧送協会が所有するコンクリートポンプ車を活用した消火活動などを行うというもので、市から要請を受けた場合に可能な限り車両を派遣して応援する。また、集中豪雨により道路のアンダーパスが冠水した場合の排水活動も含まれる。